



第18回

阪急阪神 未来のゆめ・まち基金
助成プログラム

阪急阪神沿線で活動する

市民団体を

大募集!

応募期間

9/1(火)~10/8(木)

グループ従業員の募金と阪急阪神ホールディングスからの同額上乘せ寄付により、
ゆめ・まちプロジェクトの重点領域である「地域環境づくり」「次世代の育成」に取り組む
阪急阪神沿線の市民団体への助成を行っています。

阪急阪神ホールディングスグループ

募集
団体数15 団体
程度助成金
1団体
あたり50 万円
部門Ⅰ100 万円
部門Ⅱ[使途自由で、
使いやすい]

募集分野

地域環境
づくり地域の安全・美化運動、里山保全、地産
地消、地域の文化芸術の保全・活用、まち
づくりなどNPO法人大阪海さくら(第15回)
海洋保全・環境啓発イベントNPO法人京都発・
竹・流域環境ネット(第17回)
放置竹林整備活動、竹林資源の活用次世代の
育成こども達のための自然体験、環境教育、
文化・芸術・スポーツ活動、国際理解教育、
困難な状況にあるこどもの支援など一般社団法人みんなの居場所
かむはび(第16回)
こどもの居場所、地域食堂、
学習支援、困窮家庭・不登校児の支援NPO法人ASK(第17回)
スケートボードの普及と
地域理解の促進過去17年間実績：助成団体 **228** 団体 助成金額 **1億3,606万円**阪急阪神ホールディングスグループ
サステナビリティ宣言未来のため、まちのため、
そのキモチを応援したい。

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」第18回助成プログラムについて

1 プログラムの特徴

- 阪急阪神沿線で活動する市民団体に助成
- 助成金は使途自由で、運営資金にも利用可
- グループ従業員の募金を基にした助成金
- 支出規模に応じた助成金額が異なる2つの募集部門
- 施設情報誌、従業員向け情報発信など広報PRもお手伝い

2 募集分野 (A・Bどちらか1つの分野に当てはまれば結構です)

A.「地域環境づくり」

地域コミュニティが、安全・安心かつ文化的で環境に配慮しながら発展する、持続可能なまちづくり

B.「次世代の育成」

未来の地域社会を担う子ども達が、夢を持ち、健やかに成長する機会づくり



3 募集部門 (いずれかの部門を選択してください)

部門Ⅰ(50万円を助成) [12団体程度]

対象:募集分野に関わる地域・社会の課題に取り組むすべての団体。支出規模は問いません。



部門Ⅱ(100万円を助成) [3団体程度]

対象:募集分野に関わる地域・社会の課題に取り組む団体で、年間支出額300万円以上の団体を想定しています。

(※これまでの活動の先駆性や市民団体ならではの優れた事業モデルを持つかを重視して選考します。)

4 助成対象団体の要件 (一部抜粋)

- (1) 公益的な活動を行う非営利の市民団体(特定非営利活動法人、社団法人、財団法人、任意団体など一般社団法人・一般財団法人は非営利型に限る)で、阪急阪神沿線の市町※を活動フィールドとすること。
(※) 京都市、向日市、長岡京市、大山崎町、大阪市、豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町
- (2) 募集分野(「地域環境づくり」または「次世代の育成」)における活動実績があり、2027年4月1日現在で団体設立から3年以上経過していること。
- (3) 団体を構成する会員が5人以上いること。
- (4) 定款、会則またはこれに相当する規約等を整備し、事業報告書やニュースレターなど、過去の活動実績がわかる書類を発行していること。

※その他、書類の提出や公開などに関して要件があります。詳しくは「募集要項」を助成事務局ウェブサイトから入手してご覧ください。

5 応募期間・応募方法

2026年9月1日(火)～10月8日(木) 13時まで ※期日厳守

申請フォームからエントリー(団体情報等を入力)の上、応募書類一式をメールにて右記助成事務局にお送りください。

申請フォーム: <https://forms.gle/SS8cukB7A6V3uWwU6>

持参による提出は受け付けません。

※応募書類は返却できませんので、申請時は必ず控えをお取りください。

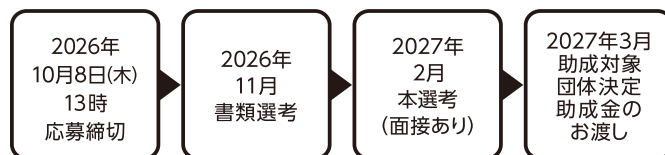
6 選考方法

主催者が行う書類選考と選考委員による本選考により、次の観点から総合的に評価し、決定します。

- ①整合性:プロジェクトの重点領域※1に沿い「SDGs」※2の目標4もしくは目標11を意識した活動を行っている。
- ②活動目的の社会性:公益性や重要性が高く、市民が取り組む意義がある。
- ③活動実績:活動目的や社会的背景を踏まえた活動の実績がある。
- ④企画力:ニーズ等の分析が的確で、目的達成に向けての計画が具体的かつ実現可能である。
- ⑤連携と共感:「SDGs」の目標17・ターゲット17.17に沿っており、多様な人々との連携に向けて開かれ、市民や当社従業員から共感・参加を得やすい。
- ⑥組織の継続性:組織・事業が継続する仕組みがあり、今後の発展の可能性はある。
- ⑦組織ビジョンの明確さと発展性:「SDGs」の達成目標に向けて、団体の中長期ビジョンが明確で具体的・実現的な事業展開を計画されており、かつ今後発展の可能性はある。

※1 募集要項7ページ参照 ※2 募集要項8ページ参照

7 助成実施までのスケジュール



8 募集・申請について

助成事務局のウェブサイトにて、基金の概要や申請書の書き方等を説明する動画を掲載しています。記入にあたってご留意いただきたい点もお伝えしていますので、申請前になるべくご視聴ください。(視聴時間約15分×2本の30分) また、同ウェブサイトの「よくあるQ&A集」もご確認くださいよう願います。

※申請についてのお問合せは、「募集要項」「助成申請書」をご覧の上、助成事務局まで電話または質問フォームをお願いします。

※「募集要項」「助成申請書」は、下記ウェブサイトからダウンロードしてください。ダウンロードできない場合は、助成事務局に電話または質問フォームで請求できます。

募集説明動画公開先、
「募集要項」「助成申請書」ダウンロードページ



※URL <<https://osakavol.org/news/subsidy/yumemachi2026.html>>

9 助成事務局 (お問合せ先)

社会福祉法人 大阪ボランティア協会(担当: 椋木、永井)
〒540-0012 大阪市中央区谷町2-2-20 2F 市民活動スクエア「CANVAS谷町」

TEL 06-6809-4901

FAX 06-6809-4902

メール yumemachi@osakavol.org

※質問フォーム <<https://forms.gle/xq6m7Kxw1nnugpFZ9>>

